

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成26年3月27日(2014.3.27)

【公開番号】特開2012-140243(P2012-140243A)

【公開日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-029

【出願番号】特願2011-9167(P2011-9167)

【国際特許分類】

B 6 5 G 11/20 (2006.01)

B 6 5 G 11/02 (2006.01)

B 6 5 G 65/48 (2006.01)

B 6 5 B 39/00 (2006.01)

B 6 5 B 9/20 (2012.01)

【F I】

B 6 5 G 11/20 Z

B 6 5 G 11/02

B 6 5 G 65/48 A

B 6 5 B 39/00 C

B 6 5 B 9/20 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上方から落下する物品を下方に移送させる物品移送装置であって、
上下方向に延在する筒状のシュートと、
前記シュートの側壁面に形成されるスリットと、
前記シュートに隣接して回転可能に支持され、当該回転に伴って前記シュートの外部から前記スリットを通して前記シュートの内部に周期的に進入する詰まり防止部材と、
を備える、物品移送装置。

【請求項 2】

前記詰まり防止部材は、前記シュートの周囲に複数設けられており、
前記複数の詰まり防止部材は、異なるタイミングで前記シュートの内部に進入する、
請求項 1 に記載の物品移送装置。

【請求項 3】

前記複数の詰まり防止部材は、前記シュートの周囲に等間隔で配置され、且つ、等間隔の位相差をもって回転する、
請求項 2 に記載の物品移送装置。

【請求項 4】

前記詰まり防止部材は、前記シュートの周囲に複数設けられており、
前記複数の詰まり防止部材は、同じタイミングで前記シュートの内部に進入する、
請求項 1 に記載の物品移送装置。

【請求項 5】

前記詰まり防止部材は、円板部、および、前記円板部の外周部から径方向外側に向かっ

て突出する突出部を有し、

前記突出部は、前記詰まり防止部材の回転に伴って前記シュートの外側から前記スリットを通して前記シュートの内部に進入する大きさである、

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の物品移送装置。

【請求項 6】

前記突出部は、前記詰まり防止部材の回転方向の逆方向に向かうにつれて径方向外側への突出量が増大する、

請求項 5 に記載の物品移送装置。

【請求項 7】

前記円板部の周方向に沿って複数の前記突出部が所定間隔で形成される、

請求項 5 又は 6 に記載の物品移送装置。

【請求項 8】

前記詰まり防止部材は、前記スリットの幅と略同一の厚みを有する板状部材である、

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の物品移送装置。

【請求項 9】

前記詰まり防止部材の回転速度は、前記シュートの内径が最小となる位置における前記物品の落下速度に基づいて決定される、

請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の物品移送装置。